

京都市美術館 「芸術都市パリの100年展」



全体会が開かれている京都会館のすぐそば、京都市美術館では、「芸術都市パリの100年展」が開催中です。この展覧会を美術館に勤務する、京都市職労の組合員が紹介します。

京都市職労文公支部書記長
福富 雅哉さん

世界中の人々を魅了するパリには、19世紀後半から20世紀前半には多くの芸術家が夢を持って集い、才能を開花させました。

この展覧会では、その100年に焦点をあて、ルノワール、セザンヌ、ユトリロら芸術家達が見たパリを、フランス国内15の美術館から約140点の作品によりご覧いただけます。京都にいながらパリの美術館めぐり。

パリの魅力を発見する旅に出かけましょう。

Bon Voyage!

この秋の京都がパリになる！

青年企画 とことん!しゃべり場



全体集会後の青年企画には、約70人が参加しました。第1部では、地元を代表して京都青学連の大西さんが、京都の青年運動と自治体要求運動について青年一揆や京都市長選での経験や教訓を報告。東京・江東区職労の細井さんから、10・5青年大集会に参加しての感想などについて、大阪自治労連青年部の荻野さん、尾崎さんから大阪労連青年部での大阪府と

の交渉について報告がありました。第2部は、交流懇親会とご当地「京都検定クイズ」に挑戦。テンプルごとの対抗戦となったクイズは、難問あり、珍問ありと大盛り上がり！
京都の青年と全国の青年による合同企画は大成となり、青年運動の可能性の大きさを新たに実感するものとなりました。

全国のたたかいの 経験学び、大いに交流

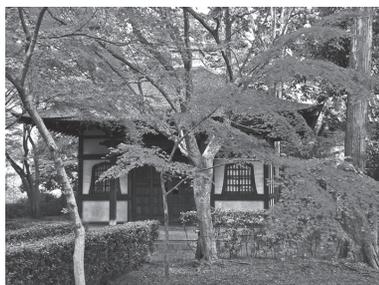
やっぱりすごい！青年大活躍!!



東京・江東区職労の細井さん



京の四季⑥



深まる秋、紅葉の赤が心にしみる真妙堂

秋



鞍馬の火祭



時代祭

秋の京都

お祭り案内

秋の京都を代表する祭り「鞍馬の火祭」 10月22日

鞍馬の火祭りは、940(天慶3)年、平将門の乱や都の大地震などで騒然とした世の中の平安を願い、御所にまつられていた由岐神社を朱雀天皇の詔によって御所の北方に当たる鞍馬へと移し、北の鎮めとしました。そのときの行列に感激した鞍馬の住民が、この儀式を後世に残そうと伝えてきました。午後6時にかがり火が灯され始まる祭は、午後8時ごろには百数十本の松明が山門前に集まります。燃え盛る炎がひしめく様は迫力満点で祭りは最高潮に…。祭が終わるのは午前零時を過ぎています。

同じ日の昼間には、京都御所建礼門から平安神宮まで4.5メートルの間に一大時代絵巻を展開する「時代祭」も行われます。



自治研集会成功のために 頑張る現地のスタッフ

「京都会館はこう行きます」
秋晴れのなか
道案内



▲2500人分の資料の袋詰め作業



▲受付 全国からの参加者を歓迎



翌日朝配布の「くらまてんぐ」を仕分けする速報班作業は深夜まで